

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和5年度		
事業番号	42	事業名	子ども医療費支給事業		担当課		保険医療課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-1-3-1 子ども医療費支給事業		
			(大事業名) 子ども医療費支給事業		決算書ページ		104 ~ 一般		
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち		事業開始の背景	子どもの医療費の一部を支給することにより子どもの福祉の増進を図ることを目的とし、昭和48年4月に愛知県乳児医療制度の創設に合わせ開始した。		
		政策	1	妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援					
		施策	(1)	子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進					
	その他	開始年度		昭和48年度		市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可	
		終了予定年度		☐ 年度 ☒ 未定					
		根拠法令等		長久手市子ども医療費支給条例					
		関連計画		—					
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 13212 【事業内容】 子どもの疾病または負傷について必要な医療を適切に受けられるよう医療費を支給することで、子育て中の親の経済支援並びに子どもの受診機会の確保に繋げ、子どもの健全な育成を支援する。		【アクションプラン指標】 新たに対象となる者（新高校生1年世代）への制度案内【単年】 【その他の指標】 出生等により新規に受給資格を持った者への子ども医療費受給者証の発行や内容の説明。 利用者への医療費の支給や、適切な医療の受診のための案内の実施。		子ども医療費の支給内容や、適切な医療受診について理解する人の増加 (成果指標名) 子ども医療費の対象者一人あたりの医療費支給額		大 事 業 共 通 子どもたちが安心して学び、健やかに成長することができるまちを目指す。	

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	成果指標の推移と目標										
		子ども医療費の対象者一人あたりの医療費支給額	円/人	- 年度		R4 年度		【現状】 R5 年度		R9 年度		R14 年度		
						39,406		37,852		37,852		37,852		
		成果達成状況				指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている				子ども一人あたりの医療費支給額が、毎年度同等程度であれば、必要以上に医療費を使用していないと考えられるため、令和4年度の実績額を目標額とした。							
	評価の理由、分析													
	子ども医療費の支給額が年々増加していることから増加傾向にあるが、受診を抑制させることが必ずしもよいわけではないため。市民に制度の趣旨を理解していただきながら適正な医療の受診してもらうことが重要であると考えため。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		B	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		子どもの福祉の更なる増進に資するため、令和6年10月より、通院医療費の支給について、対象を高校生世代まで拡大するため。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		子ども医療費の対象者一人あたりの医療費支給額	☒ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	子どもの福祉の更なる増進に資するため、令和6年10月より通院医療費の支給について対象を高校生世代まで拡大する方針を決定したため、今後経費の増加が見込まれるが、過度な支出を抑制することも必要と考えるため、適正な医療の受診について引き続き案内する。								R8		

IV 費用	令和7年度予算の方向性（PLAN）	R7年度の費用（R6年度比）		3 年間の 推移	(単位：千円)	R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度				
		A	A. 現状維持 B. 拡充		事業費	予算	予算	決算	予算	決算			
			C. 縮小 D. 廃止			559, 294	475, 686	498, 390	436, 176	440, 289			
		理由			特定財源	合計額	133, 157	118, 921	106, 056	108, 787	93, 473		
		子どもが医療を受けやすくすることは重要であるが、必要以上の医療を使わないように、案内していくことも重要なため。				(内 国費)							
						(内 県費)	133, 157	118, 921	106, 056	108, 787	93, 473		
						(内 諸収入)							
						(内 その他)							
					一般財源	426, 137	356, 765	392, 334	327, 389	346, 816			
		積算額			R6年度予算の内訳 <細々節名、 予算額、（R5年度予算額）>								
未定			子ども医療費 559, 294千円（475, 686千円）										